

行財政改革大綱実施計画

重点項目番号	7
--------	---

番号	⑤
----	---

1. 実施事項名	給食センター整備事業			2. 担当課(執行する課)	教育部教育総務課						
3. 現状・問題点・必要性 (なぜやるのか)	現状: 伊賀市の学校給食の現状は、小学校では全校で学校給食が実施され、中学校では旧町村の6校で実施されているが、旧上野市の6校では実施されていない。 必要性: 合併後の住民サービスの一元化という面からも上野地区内の中学校給食の実施が必要に迫られており、伊賀市の中心に給食センターを建設し、公設民営により中学校給食を実施する。			4. 責任者名(執行責任者)	教育総務課長 奥井 平和						
				5. 担当課電話番号	22-9675						
7. 実施する内容・目標数値 (なにを、いつまでに、どのようにやるのか) (集中改革プラン関連項目については、平成22年4月1日の目標数値を合わせて記載する。)	未実施の上野地区6中学校、旧伊賀町2校、青山中の併せて9中学校給食を給食センターで調理し配送する。 場所: ゆめが丘地内に伊賀市給食センター(仮称)を建設する。 敷地面積: 約7,100㎡、建築面積: 約1,700㎡ 実施時期: 平成19年4月より実施 給食数: 約2,700食分			6. 対象等(なにを・だれを)	給食センター整備による中学校給食実施						
				8. 成果(どうなるのか)	給食の未実施解消により、サービスの一元化や栄養バランスに配慮した食事を提供することにより子どもの健全な発育を促す。						
				9. 財政効果額(千円)(いくら削減されるのか)	68,148/年	自校方式652円うち市負担額428.4円 センター方式542.2円うち市負担額302.2円 差126.2円 126.2円×2,700食×200回/年=68,148千円/年					
10. 目標を達成するための活動指標(全体目標を達成するために個別に実施する項目 なにをどけだけやるのか)	指標名	目標値	定義・算定式	11. 行程表(いつまでにやるのか)							
				平成17年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		
				10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	
	給食センター基本・実施設計		厨房機器決定	10月~3月							
	議会承認、用地取得				6月						
	センター建設				7月~H19・2月						
	テスト稼動				3月1日~3月31日						
本番稼動							4.1~給食センター稼動				